

政策 05 環境と調和したまちづくり

施策 04 生活衛生環境の向上

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
快適で衛生的な生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	快適な生活衛生環境だと思ふ市民の割合（％） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
		68.2	75.8	-	72	
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度 (比較不可)
		(比較不可)	目 標 達成度 (---)			

指標	生活衛生環境に関する事故件数（件） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
		0	0	0	0	
評価	前年度の実績値と同じく0件であった。					対 前年度 (向上)
		(向上)	目 標 達成度 (達成)			

指標	生活衛生環境に関する苦情の解決率（％） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
		98.8	98.7	98.3	98	
評価	(状況) 前年度実績と比べて0.4ポイント減少した。 (原因) 前年度に比べて公害に関する苦情件数は増加したが、 市職員による早期対応や関係者間の調整などを進め、解決に努 めてきたことに因るものである。					対 前年度 (横ばい)
		(横ばい)	目 標 達成度 (達成)			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域住民による生活衛生環境の保全

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	54.4	58.3	-	60	
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度 目 標 達 成 度 (---)
		(比較不可)	(比較不可)	(比較不可)	(---)	(---)

基本事業01 地域住民による生活衛生環境の保全

指標	ペット・小動物に関する苦情件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	31	38	40	25	
評価	（状況）前年度と比べ、犬や猫に関する苦情件数は2件増加した。 （原因）犬や猫に関する主な苦情内容は、犬の鳴き声や放し飼い、野良猫のえさやり、糞害であった。コロナウイルス感染症拡大防止措置により、在宅時間が長くなったことが、苦情件数増加の大きな要因である。					対 前年度 目 標 達 成 度 (---)
		(横ばい)	(横ばい)	(横ばい)	(---)	(---)

基本事業02 生活衛生環境の向上支援

指標	生活衛生環境の向上支援件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	1,329	1,457	1,586	1,600	
評価	（状況）前年度実績に比べ128件増加した。 （原因）猫の避妊等手術費補助金は若干減少したものの、その他の項目（草刈り機貸し出し、スズメバチの巣の駆除費補助金、合併浄化槽設置整備事業補助、自宅前側溝浚渫土砂回収）は総じて増加していた。					対 前年度 目 標 達 成 度 (---)
		(向上)	(向上)	(向上)	(---)	(---)

基本事業03 公害の防止

指標	公害に関する苦情件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	87	79	117	60	
評価	（状況）前年度と比べ実績値（R2）が38件増加し、令和5年度目標値よりも57件上回った。 （原因）コロナウイルス感染症拡大防止措置により、在宅時間が長くなったことが、騒音、悪臭の苦情件数増加の大きな要因である。					対 前年度 目 標 達 成 度 (---)
		(低下)	(低下)	(低下)	(---)	(---)

基本事業04 墓園の管理

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	区画墓園利用率 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
	【環境課】	88	88	87	90	☂ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が1ポイント減少した。これは、需要に応じた使用者募集を行い、新たに26区画の使用者を決定したが、返還が71件(うち合葬式墓地への施設変更のための返還53件)あり、利用率が減少したためである。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						(---)

基本事業04 墓園の管理

指標	合葬式墓地の利用許可数 (件)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
	【環境課】	0		541	750	☀ (向上)
評価	合葬式墓地の供用を開始し、使用者募集を行ったところ、現状値が541となった。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						(---)

基本事業04 墓園の管理

指標	墓園維持管理に関する苦情件数 (件)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
	【環境課】	23	25	26	20	☂ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が1ポイント増加した。除草や清掃など維持管理業務を実施したが、公衆便所や害虫に関する苦情が多く寄せられたことから、前年度と同程度の苦情となった要因である。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						(---)

基本事業05 し尿処理施設の管理

指標	施設維持管理に関する障害件数 (件)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
	【衛生組合】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	施設の老朽化が進み、修繕箇所が増加しているが、長期修繕計画に基づく定期修繕の実施や、早期発見・早期対応による緊急修繕を実施したため、重大な障害の発生は未然に防ぐことができています。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						☑ (達成)

基本事業05 し尿処理施設の管理

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	し尿等の搬入量（千kl） 【衛生組合】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
				16	16	15
評価	(状況) 前年度と比べ、1千kl減少した。 (原因) 状況としては、搬入量は減少傾向にある。 公共下水道の整備促進が図られ、下水道への切替えも盛んに行われており、生し尿は減少が顕著であるが、切替工事により発生する浄化槽の汚泥量が搬入量減少の妨げとなっている。	(千kl) 				対 前年度